

平成29年4月11日

報道機関 各位

熊本大学

大学院先導機構・山口知也准教授が  
平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰  
若手科学者賞を受賞

熊本大学大学院先導機構・大学院生命科学研究部の山口知也准教授が、平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において「若手科学者賞」を受賞しました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われているものです。「若手科学者賞」はその中でも萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満の若手研究者に贈られます。

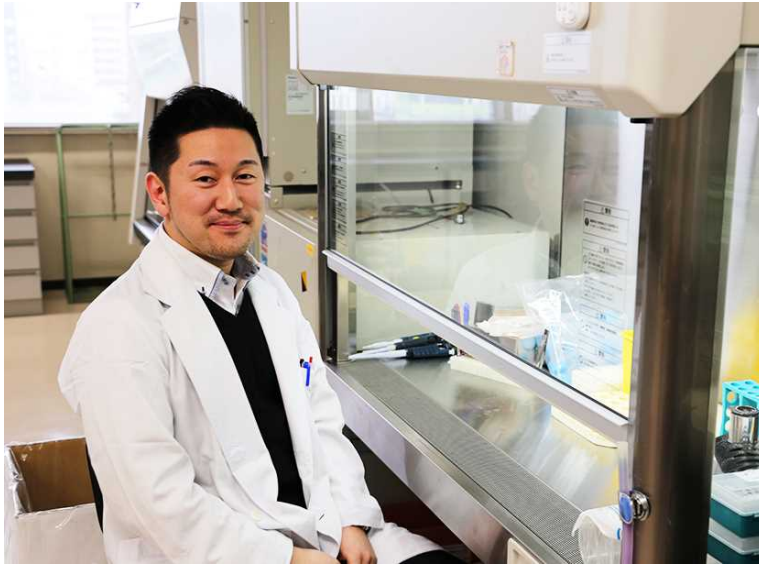
受賞された研究テーマは「肺腺がんのリネジ特異的生存シグナル伝達機構の解明の研究」です。山口准教授らは、TTF-1という肺腺がんの特異的であるがん遺伝子により誘導される遺伝子として「ROR1」を世界に先駆けて同定し、肺腺がんの生存に深く関わることを発見しました。またROR1による肺腺がん細胞での薬剤耐性の詳細な仕組み（分子機序）を明らかにするとともに、ROR1の抑制が肺腺がん細胞の増殖を抑え、既存の分子標的薬「イレッサ」等の薬剤耐性を獲得した肺腺がん細胞においても効果的であることを見出しました。こうした肺腺がんの“アキレス腱”となる分子を発見し、詳細なはたらきを明らかにした業績が評価され、今回の受賞に繋がりました。

表彰式は4月19日に文部科学省において行われる予定です。

山口先生のコメント：

「この度は名誉ある賞を賜り、大変嬉しく光栄に思っております。このような素晴らしい賞を頂きましたのは、これまで長年にわたりご指導頂いた名古屋大学の高橋隆先生をはじめ分子腫瘍学分野の皆さま、また共同研究者の先生方のご尽力の賜物でございます。この場をお借りし、心より厚く御礼申し

上げます。これまでの私たちの研究成果が、少しでもがんの撲滅に向けて一助となりますことを願っております。この度の受賞を更なる原動力として、新天地である熊本大学で新しい治療法につながる更なるがんの本態解明に挑んでいきたいと思っております。」



山口知也准教授

【お問い合わせ先】  
熊本大学 大学院先導機構  
兼 大学院生命科学研究部(がん生物学分野)  
担当：山口知也(准教授)  
e-mail：tyamaguchi@kumamoto-u.ac.jp